

(第3種郵便物認可)

ラヴェリオ(大阪市淀川区、田端彰社長、06・6838・7060)は、人材派遣事業部門を分社化し新会社「リンクスタップ」(大阪市淀川区)を設立した。化粧品などの主力事業から独立させ、事業拡大するのが狙い。営業スタップを順次増員し新規開拓を急ぎ、初年度の08年5月期は売り上げ8億5000万円、09年5月期は同15億円を目指す。

新会社は資本金1000万円、ラヴェリオの稲野和之執行役員が就任した。稲野社長

のほかラヴェリオの田端社長、兄弟会社であるオールコーポレーション(大阪市淀川区)の関係者らが出資。一種の「れん分け」の形で独立させた。

事業継続した新会社の派遣登録者は約7万人で、就業者は一日当たり約300人。関西中心の150社に対し、介護スタップや一般事務スタップ、情報システム関連スタップを派遣している。今後は介護関連施設への人材派遣業務をより推進する。人材派遣に加え、コンサルティング要素も加味し、提案型営業を展開する。さらに有料職業紹介事業も強化し、売り

【松山】服部製紙(愛媛県四国中央市、服部豊正社長、0896・583005)は8月をめぐりに、重曹電解水クリナーの新ブランド「スンデック」写真」を市場投入する。従来のウエットティッシュ形状に変わりはないが、新ブランド

# モノづくりの「新世代」

事業承継者に聞く

□ 7 □

製鉄所向け圧延ロールの研磨加工が主力の小出ロール鉄工所。創業93年を迎える老舗企業をけん引するのは、06年4月に6代目社長に就任した43歳の小出明治さんだ。平均年齢33歳の若い技術者集団を率いて伝統を引き継ぎつつ、新事業の展開も視野に入れる。

「継承はどのように進めましたか。」  
「前任10年を区切りに前社長の引退が決まっております。交代の2年ほど前から準備を進めてきました。」

「継承はどのように進めましたか。」

「継承はどのように進めましたか。」



小出ロール鉄工所社長 小出 明治さん

## 伝統は信頼 技術は売る

た。ちょうど新工場の建設計画があり、資金繰りもすべて自分に委ねられた。この案件を手掛けたことが大きな自信になった。十分な準備期間があったため、引き継ぎがうまくいったと思う」

「就任後、経営方針の変化は。」

「大きな変化はないが内外のコミュニケーション

「重荷ではない。伝統は信頼の証。ただ伝統に縛られる気はない。我々は商品ではなく技術そのものを動画で撮影して技能習得に役立てている。同時に、熟練技能者を指導員として雇用し、オン

「当然ある。総合加工メーカーを目指したい。ロール加工が事業の中核だが、丸モノ加工だけでなく角モノの加工も視野に入れていく。ロールの取り付けや取り外しなどのエンジニアリング部門も始めたい」

「重荷ではない。伝統は信頼の証。ただ伝統に縛られる気はない。我々は商品ではなく技術そのものを動画で撮影して技能習得に役立てている。同時に、熟練技能者を指導員として雇用し、オン

「重荷ではない。伝統は信頼の証。ただ伝統に縛られる気はない。我々は商品ではなく技術そのものを動画で撮影して技能習得に役立てている。同時に、熟練技能者を指導員として雇用し、オン

(木曜日に掲載)